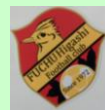


平成31年6月25日

風は東から

To be continued...



T4リーグ全勝を目指し邁進中 !!
大成高校 インターハイ出場決定!!

T4リーグ第二節 VS 東大和南 3-2 勝利!!

“F-Higashi style 進化計画” 只今、進行中!!

関東地方は、六月上旬に梅雨入りしましたが、ここ数年は雨不足のようです。その甲斐もあり、ここまではほぼ予定通りTRMを行うことができました(今年も調子のいい国分寺高校とTRMで闘えなかったことだけが心残りです)。この間に行った強豪校のサブチームとの闘いを通して、子どもたちは逞しくなり、一回り成長したように感じています。

さて、チームは一か月前にインターハイ都大会で成立学園戦に敗れてから、先ずは、選手権一次予選までの間に設定されているT4リーグ二試合に全勝し、勝ち点を伸ばすことに照準を絞りTRを行っています。高体連の公式戦は選手権が最後になりますが、高校サッカーの公式戦はTリーグの順位決定戦まで続いていきます。2019年度東高サッカー部の目標である選手権ベスト8とT3リーグ昇格に向けて、現状通りTR&TRMの量をキープしながら質も高めて、東高サッカーの拘りを持ち、「F-Higashi styleの進化計画」を進行中です。

T4リーグは二連勝で暫定首位!!

6月23日(日)、Tリーグ第二戦の東大和南戦が東高グラウンドで行われました。久しぶりのホームでの公式戦に多くの保護者やOBが観戦に来てくれました。ホームゲームは心強いですね!!



<T4リーグ第二節 VS 東大和南 二年前の借りがあるだけに負けられない闘いである>

さて、この年代の都立高校ではNo.1のメンバーが揃ったと言われている東大和南高校には、一年生の時に完膚なきまでに叩きのめされたこともあり、このゲームはリベンジマッチとして捉えて準備を進めてきました。先のインターハイでは、二次トーナメント決定戦で強豪校の**関東一高**相手に延長戦まで纏れるゲームをするなど、やはり今年のチームは名実ともに実力があります。

ゲームは、立ち上がりから東高が相手陣地でビッグチャンスを作りますが、相手GKのファインセーブもありゴールを奪えません。すると、前半24分に連係ミスを突かれて相手のファーストシュートがゴールに転がり先制されます。それでもゲームの流れは東高ペースで進み、前半36分に同点に追いつきます。後半も、東高の勢いは止まらずに攻め込み、遂に後半7分には逆転ゴールを奪いさらに追加点を狙います。ところが、後半30分に右サイドで気を吐く**横溝(2年)**が頭を蹴られ負傷退場するというアクシデントに見舞われると、少し流れが変わりその一瞬の隙を突かれて同点に追いつかれます。しかし、今年のチームはこのピンチにも動じることなく直ぐに立て直しを図り、後半35分に**松浦(2年)**が抜け出しゴールを決めて、再びリードします。

その後も、決定機を作りますが決め手に欠け結局そのままタイムアップ。**3-2**で勝利し、勝ち点を伸ばして暫定首位に立ちました。第三節は**狛江高校戦**です。次節でも、勝ち点3を積み上げられるよう、**TR**していきたいと思います。引き続き、応援宜しくお願いいたします。

おめでとう、大成高校!! 初の全国大会 インターハイ(沖縄)出場決定!!

6月22日(土)、雨の駒沢第二競技場で、インターハイ東京都代表決定戦が行われ、ご近所のライバル校(というには失礼かな?)である**大成高校**が、今年度から**関東プリンスリーグ**に昇格し参戦中の名門**帝京高校**をPK合戦の末破り、チームとしては初の全国大会出場を決定しました。昨年度選手権の決勝戦(**VS 国士館**)で流した涙が活かされましたね。

私が赴任してから、大成高校とは毎週火曜日に定期戦を行い、今年度からは日曜日に一年生ゲームを復活するなど、一番多く**TRM**で揉んでもらってきました。特に、下のチームの子どもたちとは、東高のグラウンドで良く顔を合わせることも多いので、今回の結果は、自分のチームのことにように嬉しいです。是非、令和最初のインターハイ本大会(沖縄県)では、**大成旋風**を巻き起こし、一つでも多く勝ち進んで欲しいと、東高サッカー部一同願っています。

インターハイ出場 おめでとう、大成高校サッカー部!!



<おめでとう、インターハイでも大成旋風を巻き起こせ!!>

<After the Game>

ご近所の大成高校の全国大会出場は嬉しい限りですが、東高もベスト8への可能性を感じさせてくれる、大4 r 5活躍でした。この刺激を東高の子どもたちも感じてくれるといいですね。